

■寄せられた意見とその対応（意見総数 313 通 分類後 480 件）

寄せられた意見	意見に対する対応
1. 意見募集に関する意見 19 件	
<p>① P I の進め方に関する意見（13 件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を広く公開し丁寧に説明してほしいという意見 ・村民の意見によく耳を傾けて進めてほしいという意見 	<p>○ 意見募集にあたっては、インターネット、マスメディア、郷友会及び自治組織を利用して幅広く意見を集められるよう努めました。特に粟国村民には各世帯にパンフレットを配布し、必要に応じて説明を行っております。今後も粟国村をはじめ県民の皆様に必要な情報を提供し、事業の透明性の確保に努めていきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・寄せられた意見から「事業の必要性」と「施設整備の妥当性」をどのように判断するのかわからないという意見 	<p>○ 事業化に向けた検討を継続するか否かの判断は、頂いた意見やこれまでの検討結果を踏まえ、事業主体が総合的に判断して決定します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ハガキの設問項目が分かりにくいという意見 	<p>○ 設問ハガキでは、意見を記入しやすく表現するよう努めました。今後、よりわかりやすい内容で情報提供できるよう努めます。</p>
<p>② 調査報告書に関する意見（6 件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットの紙面構成に関する意見 	<p>○ 調査報告書を作成するにあたっては、必要な情報をできるだけわかりやすい内容で表現するよう努めました。よりわかりやすい内容で情報提供できるよう努めます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・より具体的な内容を知りたいという意見 	<p>○ 検討状況の進捗に応じて、適宜情報を提供してまいります。</p>
2. 航空の必要性に関する意見 99 件	
<p>① 船舶は欠航が多くあてにならないという意見（27 件） （船は長期間欠航することがある。生活物資の輸送に航空が必要である）</p> <p>② 島で安心して暮らすために航空が必要だという意見（23 件） （那覇市内の病院に通院するのに航空が必要である） （離れた家族との行き来に航空が必要である）</p> <p>③ 産業の振興に航空が必要だという意見（22 件） （空港整備は観光業の振興、島の発展に寄与する） （飛行機を使用して水産物、農産物を出荷したい）</p> <p>④ その他（27 件） （航空路維持のため早めに対応してほしい）</p>	<p>○ 粟国空港協議会では、欠航の多い船舶のみに依存しない、那覇との交通体系を確立するため、安定して運航する定期航空路の再開設を考えております。</p>

3. 航空サービスに関する意見 167 件	
<p>①飛行機の大型化を望む意見（81 件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 19 席の飛行機を支持する意見（内 20 件） ・ 39 席の飛行機を支持する意見（内 6 件） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自由意見のなかで最も意見が多かった内容で、飛行機の大型化が望まれていることがわかりました。飛行機の大型化の実現は、航空会社の協力が必要不可欠です。 ○ みなさまのご意見を踏まえ、19 席、39 席の両面から航空機の大型化の実現に向け、航空会社と具体的な検討を深めてまいります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現滑走路でも離着陸ができる 19 席の飛行機の運航を望む声が多く見られました。しかし、県内では、19 席の飛行機を運航している航空会社はありません。航空会社は、新しい飛行機、交換部品を調達し、パイロット、整備士の確保など運航するための環境を整える必要があるため、運航会社への支援策等を検討します。 ・ 一方、39 人乗りの飛行機は、県内の航空会社が保有していますので、滑走路が延長されれば、39 席の飛行機の運航が実現する可能性が高いです。
<p>②1 日 2 往復以上を望む意見（34 件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 日 1 往復では使い勝手が悪いとする意見 ・ 現空港を活用した航空サービスを支持する意見 ・ 大きな飛行機で 1 日 2 往復以上を望む意見 <p>③定期航空路を望む意見（10 件）</p> <p>④その他（42 件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 欠航が少ない飛行機を運航してほしいとする意見 ・ 利用者が多い日には臨時便を運航してほしいとする意見 ・ 航空運賃の低減してほしいとする意見 ・ 貨物輸送ができる飛行機を運航してほしいとする意見 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現在、国と県では、栗国－那覇路線を含む小規模離島航空路（6 路線）において、離島住民の移動コストの低減化を図る実証実験を実施しています。 ○ また、航空サービスに対する要望は、みなさまから頂いた意見・要望を踏まえ、県と村が主体となって航空会社とともに検討していきます。
4. 将来の対応方策に対する意見 130 件	
<p>①滑走路整備案を支持する意見（67 件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A 案を支持する意見（内 6 件） ・ B 案を支持する意見（内 10 件） ・ 早期整備を実施して欲しいとする意見（内 47 件） <p>②現空港活用案を支持する意見（33 件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 整備に反対する意見（内 18 件） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ P I 活動終了後に「栗国空港の整備事業」の事業化に向けた検討を継続するか否かを判断します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業化に向けた検討を継続すると判断した場合には、P I の実施結果やこれまでの技術的な検討結果を踏まえ、整備の方向性として A 案と B 案のいずれの案を進めるかを検討します。その上で、飛行方式の設定など定期航空路の開設に向けた課題を整理し、空港整備の事業化に向けて取り組んでいきます。 ・ 事業化に向けた検討と併せて、航空会社への支援策や現空港を活用した栗国－那覇路線の維持・拡充の検討に取り組みます。

<p>③自然環境への影響を懸念する意見（19件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境へ配慮した計画にしてほしいとする意見 ・海を埋め立てないでほしいとする意見 	<ul style="list-style-type: none"> ○ A案の空港配置は、海上部の埋立面積を極力少なくなるよう配慮し、農業用地や土地改良区に寄せて計画しています。B案の空港配置では、海上部へ突出しないよう村民牧場に空港を計画しています。 ○ いずれの案で進める場合にも、自然環境への影響を調査し、自然環境に与える影響を小さくする対策や保全対策を立て実施していきます。
<p>④その他（11件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸地側のみに延長した計画は検討しないのかという意見 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現滑走路の延長案では、陸側のみの延長案も過去に検討した経緯がありますが、陸上部には基幹産業の農業を振興する観点から土地改良事業が実施されており、この事業と整合を図る上で海側へ延長することが望ましいと判断しました。
<ul style="list-style-type: none"> ・空港拡張により東西を分断しないように道路を通してほしいという意見 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 滑走路の整備にあたっては、既存道路の替わりになる道路を含め、検討していきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・ターミナルビルなど建築物の設計において、着陸機に与える乱気流が滑走路上に発生しないよう留意してほしいという意見 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業化に向けた検討を進める場合には、ターミナルビル等の建築物の計画において着陸する航空機への安全性の影響を考慮した計画となるよう留意します。
<p>5. 空港整備の妥当性に対する意見 28件</p>	
<p>①航空会社の採算性に関する意見（10件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・39席の飛行機の採算性を疑問視する意見 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 39人乗りの飛行機は、県内の航空会社が保有していますので、滑走路が延長されれば、39席の飛行機の運航が実現する可能性があります。必要な路線については、公費を投入してでも維持されるべきと考えておりますが、検討にあたっては、採算性についても十分検討を行います。
<p>②航空需要予測に関する意見（6件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航空需要予測の根拠を知りたいという意見 ・航空需要予測結果を疑問視する意見 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 航空需要予測は、まず、1) 粟国と沖縄本島間の旅客流動量を社会経済の変化や地域間の交通利便性の変化と粟国と本島間の流動を関連付け、将来想定される社会経済状況や交通利便性により予測しました。続いて、2) 粟国と本島各地域の旅客流動の分布状況を把握し、本島各地域を出発・目的地とする地域別シェアを算出するモデルを作成し、粟国と本島各地域間の旅客流動量を予測しました。次に、3) 交通機関別のサービス水準をもとに交通機関分担モデルを作成し、将来の交通サービス水準の変化が生じた場合の交通機関分担率を予測しました。 那覇－粟国路線の需要予測値は、2) で算出した旅客流動量に3) 航空分担率を乗じ、集計して算出したものです。なお、今後の事業化に向けた検討を進める場合には、需要予測についても再確認を行います。

<p>③空港整備の費用対効果に関する意見（2件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・費用対効果の結果を疑問視する意見 	<p>○費用便益分析は、国が示している「空港事業の費用対効果分析マニュアル Ver.4」に基づき算出しています。航空輸送による直接的な効果を計算しており、空港建設や維持管理にかかる費用に対して、就航率向上による移動機会の向上、移動時間の短縮等による効果を費用換算しています。評価期間を空港建設期間+50年、評価基準年を2010年度です。なお、今後の事業化に向けた検討を進める場合には、需要予測、事業費の再確認等により、分析結果に変化が生じる可能性もあります。</p>
<p>④その他（10件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空港を整備するより航空会社を支援したほうが良いとする意見 ・この事業に対して費用をつぎ込むことを疑問視する意見 ・空港整備よりも航空会社への支援を検討すべきだとする意見・空港整備よりも医療を充実すべきだとする意見 ・パイロットにヒアリングしたところ、（滑走路と風向きなどについて）A案、B案ともに運航上大きな問題はないとする意見 	<p>○事業化に向けた検討を継続するか否かの判断は、寄せられた意見やこれまでの検討結果を踏まえ、事業主体が総合的に判断して決定します。</p>
<p>6. その他 37件</p>	
<p>①船舶サービスに関する意見（4件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠航が少なくなるよう港を改良してほしいという意見 ・高速船を運航してほしいという意見 <p>②粟国村の振興策に関する要望（15件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光振興策に力をいれるべきだとする意見 ・特色ある農業による振興を期待する意見 <p>③その他（18件）</p>	<p>○粟国空港協議会では、欠航の多い船舶のみに依存しない、那覇との交通体系を確立するため、安定して運航する定期航空路の再開設を考えております。</p>